



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第2530地区 郡山東ロータリークラブ

District 2530 Rotary Club of KORIYAMA EAST

会長：川村雄一郎 幹事：上田 眞

●事務局／〒963-8844 郡山市字賀庄15-1 新沢ビル302 TEL024-973-7813 FAX024-973-7814
●Email:kerc@cyber.ocn.ne.jp ●https://koriyama-east-rc.org/

クラブ創立記念日：1970年4月5日



2023-2024年間テーマ
クラブ、再始動!

●例会日／毎週火曜日
●例会場／郡山ビューホテル
TEL024-924-1111

第6回例会 (通算 2476回)

2023年9月5日(火)
開会点鐘 国歌 奉仕の理想 四つのテスト

会長あいさつ

クラブ活性化ワークショップ

前回の例会でバスケットボールW杯のお話をしましたが、富永の3ポイントで日本はオリンピックを決めました。私はパリオリンピックにはなんとか応援にとっています。

8月26日にクラブ活性化ワークショップに参加して参りました。青森県五所川原RCのバスターガバナー山崎さんの「ロータリーの新しい流れ、クラブ活性化のためのDEI」という講演がありました。DEIとは、Diversity Equity Inclusion(多様性・公平さ・インクルージョン)。「組織の中に違いや個性を受け入れ、生かすことで、相乗効果を引き出し、強い組織に」ということです。ロータリーでは、女性会員や40歳未満の会員を増やしていきたいと言われています。



川村雄一郎 会長

幹事報告 上田 眞 幹事

●9月のロータリーレート 1ドル=146円

●ロータリーの友、
「郡山の民話」訪問公演資料のご案内

●地区補助金事業「宇津峰山看板」
製作立替工事事業開始のお知らせ

「郡山の民話」訪問公演について 柳田佳子奉仕プロジェクト委員長

明日から訪問公演が始まります。公演の担当が決まっていない9月19日、9月27日、1月27日に、ご協力頂ける方は、私までご連絡お願い致します。



第6期RLI修了証
小池正幸さん



9月の会員誕生日

吉田純男さん(9.5)

ニコニコBOX

川村雄一郎 上田 眞 中村秀勝 加藤昌幸 佐藤雄三 橋詰勝雄 過足と茂
根本朝秋 相山 進 伊藤清正 齋藤孝子 柳田佳子 塩田義智 三瓶洋一
布施木和彦 小野広司

財団BOX

上田 眞 小池正幸 塩田義智

米山記念奨学会

川村雄一郎 上田 眞 橋詰勝雄 小池正幸 根本朝秋

出席報告 会員数29名 出席19名 欠席10名 出席率65.52%

●他クラブ出席 ロータリー財団委員会セミナー(8/19)…相山 進
クラブ活性化ワークショップ(8/26)…川村雄一郎
郡山西RC・郡山西北RC(8/23)…佐藤雄三
地区第1回阿久津肇「寛容塾」(9/2)…小池正幸 中村秀勝
クラブ事業「郡山の民話」訪問公演(9/6)…柳田佳子 小野広司 (敬称略)

第3回役員理事会 令和5年8月1日(火)

【審議事項】【審議事項】 ●2023-24年度9月・10月・11月プログラム ●公益財団法人
米山梅吉記念館 賛助会員・賛助金 ●2023-2024年度指名委員会・指名委員構成

●10月～12月納入金 ●地区補助金事業

【報告事項】 ●委員会合同事業「郡山の民話」施設訪問 ●暑気払い収支報告

●10月21日(土)◇例会変更10月17日(火)「猪苗代湖水草回収作業」食事処変更

●ガバナー公式訪問クラブ協議会配席

新会員卓話「全国と福島への介護(認知症)の現状」

布施木和彦会員 朝日生命保険相互会社 福島支社 郡山営業所所長

介護の中で国民の関心が一番高いのが認知症です。1960年代、日本では100歳以上の方が150人でしたが、半世紀で7万人、2022年では9万526人に増えています。女性が9割、女性は100歳を超えた人生設計が必要です。

要介護・要支援認定者数は年々増加し、全国で620万人、今後ますます増えることが予想されます。認知症患者数は、軽度を含むと約862万人、2021年には1,300万人。65歳以上の3人に1人が認知症、または認知症予備軍になると見込まれています。

介護が必要となった原因の第1位が認知症です。他にも生活習慣病を含む疾病により要介護になる方も多くなっています。

認知症はお金がかかります。そこで国が力を入れているのが「MCI(軽度認知障害)」での発見と予防です。MCIであれば、トレーニングで健常になる可能性があり、認知症を遅らせたりすることもできます。物忘れを加齢によるものと思いついていても、病院でMCIと言われる方も多いです。認知症かなと思ったら病院へ行き、早期発見をすることが重要です。

例えば、旅行で行った温泉の名前を思い出せない、それは加齢による物忘れです。MCIは、温泉に行ったエピソードを忘れてしまう。行った事や食べたことを忘れてしまうのは、MCIの可能性がありえます。

日本は、公的介護保険を40歳以上の全国民が支払って下支え、万が一65歳以上で介護が必要になったら助け合っているという制度を、2000年から行っています。要支援1、2と要介護1～5(7段階)、要介護度に応じたサービスが受けられます。限度額内で1～3割の自己負担があり、最低1割、現役並みの収入があれば3割の自己負担、限度額を超えた場合は全額自己負担です。決して満足、安心して介護を受けられる形ではありません。

要介護者の介護期間の平均は約5年、3年以上の割合が約6割です。利用者は500万人を突破、高齢化に伴い介護費用総額も増加、保険料負担者(40～65歳)は、現在の4,370万人から、2040年には約3,320万人に減少すると推定されています。介護費用の増加によって制度の持続性が懸念され、様々な検討…保険料を増やす、利用者負担を増やす、介護サービスを減らす、これは実際に政府が考えていることです。

介護施設は非常にお金がかかります。先のことを見据えて介護を考えないと、大変なことになります。在宅介護、老老介護が増えています。介護殺人、介護心中が、1週間に1件日本のどこかで起きてるそうです。これはお金がないからです。

福島県の要介護認定公的介護施設数と利用状況は全国平均並みで、人気の特養は1,000人以上の待ちがあります。

これから公的保障が先細りとなりますので、私的保障で自分たちの老後を守っていくのが、これからの考え方です。

朝日生命の「あんしん介護」は、100年以上続く保険商品の中で初めてグッドデザイン賞を受賞しました。加入すれば、未来に自分が介護になった時の安心が形になって見えます。朝日生命は介護に力を入れています。



第7回例会
(通算 2477回)

2023年9月12日(火)
開会点鐘 それでこそロータリー 四つのテスト

会長あいさつ

将棋王座戦 五番勝負

10月3日はガバナー公式訪問です。クラブネクタイ、プレザー、年次計画書・報告書をよろしくお願い致します。たくさんの方にお会いできるのを楽しみにしております。

今日の例会後、私はこの会場の隣で税理士会例会に出席します。税理士や弁護士は、試験に受かり、かつ税理士会、弁護士会に所属しないと免許の交付がありません。懇親会までであるので、今日私は、このホテルにずっとお世話になります。

将棋の王座戦 五番勝負第2局(9/12・神戸)のニュースをご覧になった方もいるかと思います。永瀬拓矢王座に藤井聡太七冠が挑戦しています。七冠が勝ちますと、8大タイトル全てを制覇することになります。以前は七冠までで、全て制覇したのは27年前(1996年2月)の羽生善治さん26歳です。当時のフィーバーをよく覚えています。羽生さんが7冠に在位していたのはほんの4ヶ月で、7月には棋聖を失いました。今回藤井さんが取れば、21歳の伸びざかり、何年も独占するかもしれません。

将棋はプロですと先手が有利です。6割くらいが先手で勝ちます。囲碁では先手の黒番が必ず勝つので、後手の白番にハンデをつけてやっています。

藤井七冠は第1局を先手で落としており、第2局が後手、これに敗れると3連勝が必要になり、今回の2局目が大勝負になってきます。(追記:藤井七冠は、9/12の第2局と9/27の第3局を勝ち、2勝1敗。第4局は10/11に行われます)

幹事報告 上田 眞 幹事

●年次計画書、2023-24予算について

地区運営について(ガバナー月信ペーパーレス化など)、
ロータリー文庫決算・予算書についてご報告

新会員卓話「やさしい日本語」

小野広司会員 福島民友新聞社 取締役 郡山総支社長

私は榎葉町、Jヴィレッジの近くに生まれ、1986年福島民友に入社、新聞記者一筋で参りました。

新聞社はキャンペーンで呼びかけることが多々あります。SDGsや健康、女性の社会進出などで、その一つが「やさしい日本語」です。

国際交流協会が、外国人向けにやさしい日本語を普及させましようということで、福島県国際交流協会も活動を展開、福島民友もパートナーシップを結んで、新聞やチラシで呼びかけています。

なぜ日本語をやさしくするのか?労働力不足によって、在留外国人が増えましたが、日常会話ができないと生活ができません。コミュニケーションが課題になったのは関東大震災で、デマによって虐殺が起きました。東日本大地震の時も、私たちが右往左往していた以上に、外国の方はどうすればいいのか分から



川村雄一郎 会長

ないまま置かれたということが後に報告されました。

最近の若い人、中学・高校生の作文などを読むと、ヘンテコな日本語を使うのを見かけます。きれいな作文はインターネットから写してきたものということがあります。

うちの記者にも、できるだけ伝わりやすい、やさしい日本語で記事を書くようにと言いますが、そう簡単にはいきません。自分が理解していないと表現できないので、資料を丸写しすることが新聞記者でもあります。分かりにくい熟語が並び、「それでは分からないでしょう」となります。

「実施する」を「行う」「する」にした方が分かりやすい。日本語は、漢字とひらがなが混じった言葉で、特に熟語が難しい。

行政調で行くと、難しい言葉で書かれているので、お互いよく分からないままということが皆さんもあるかと思えます。補助金をもらうのに、例文を見ても、書いてみても分からない。面倒だから申請をやめてしまうと聞いたことがあります。

この熟語を少し崩すだけで、やさしい日本語になります。「両親」を「お父さん、お母さん」、「避難」を「逃げます」と言えば、分かりやすいです。

日本語は文法も難しく、文章の最後にならないと○か×か分かりません。

新聞記事は1段落10行位、一文で仕上げてる若い記者がいますが、これはアウトです。長くて3行位、30~40字くらいに収めるのが普通です。それでも外国人には分からない。文章を短くするのがポイントです。

日常使っているカタカナ語で、日本語には和製英語が山のようであり、外国の方に伝わらない言葉が多々あります。他に日本語を難しくしているのは、敬語、擬態語です。

実は日本人にも難しいのが、二重否定です。例えば「間違いではありません」、これが何のことか分からないと言われるそうです。間違いなのか?と思うわけです。私たちの日常会話では、「正しい」と言い切ってしまうことに抵抗があり、「間違いじゃないんだけど…」と、うまくかわしたい時があります。外国の方に伝える時は、「正しい」と単刀直入に伝えてあげないと理解して頂けないそうです。

外国人がどんなところで不便を感じているか、行政、保険、金融関係などで手続きをしようとする時が一番多いそうです。

地震が起きた時、水害が迫ってきた時、どう伝えればいいのかは、日々実践の中で蓄積していくしかないかもしれませんが、頭の中に「このままでは伝わらない」というところを入れておく。できるだけ簡単な言葉で伝えようという気持ちになって頂くのがいいかと思えます。

新聞を一読し、難しいことを書いていると思ったら、指導が行き届いていないケース。遠慮なく指摘頂くことが、私どもの力になっていくと思えます。

ニコニコ BOX

川村雄一郎 上田 眞 中村秀勝 加藤昌幸 佐藤雄三 橋詰勝雄 小川則雄
根本一男 根本朝秋 吉田純男 伊藤清正 塩田義智 三瓶洋一 小野広司

財団 BOX

上田 眞 小川則雄 根本一男 小池正幸 根本朝秋 吉田純男

米山記念奨学会

上田 眞 橋詰勝雄 根本一男 小池正幸 塩田義智

出席報告 会員数29名 出席17名 欠席12名 出席率58.62%

●他クラブ出席 郡山西北RC(9/6)…佐藤雄三

社会・国際奉仕セミナー(9/9)…川村雄一郎 高田藤太郎

(敬称略)

福島民友新聞社 郡山総支社

取締役 郡山総支社長 小野 広 司

郡山市神明町4-4ふくしまF Mビル2F TEL024-922-4511

(株)ヤマカ不動産

代表取締役 葛西 秀 匡

郡山市池ノ台19-35 TEL024-922-5001